

水と交通の安全を考える



日本共産党
おざわ しょういち
小澤 彰一

その他の質問事項

- ▼ 除草剤・殺虫剤の規制は
- ▼ 新入管法施行後の対応

◆水道・水源の保全

問 水道管の補修・更新の進捗状況はどうか。法改正で水道事業の民営化が可能になったが、市の考えは。

答 水道管の法定耐用年数は40年、年数を超えた塩ビ管は全体の20%に及んでいる。医療機関などへ給水する基幹管路の整備を優先的に実施している。民営化は考えてない。

問 水源の保全はどのように行っているか。

答 県松塩水道用水からの受水と13の水源からの取水を行っているが、取水は自然条件に左右される。水源地のほとんどは森林であり、涵養機能の保全は重要と考え、保安林の指定を行っている。

◆安全な交通環境

問 高齢者の運転免許返納制度の意義はなにか。具体的に返納はどうすればよいか。

答 本市は昨年4月から

自主返納支援事業を始めた。本市は中南信運転免許センターに免許証を持参すれば容易にできる。

運転経歴証明は手数料が必要だが、提示によってタクシー料金が割引きとなる。支援事業として、タクシー利用券と共通のバスの回数券交付を4月から行う。

問 自ら身を守る安全指導が重要。児童・高齢者への安全指導はどのように行っているか。

答 交通安全啓発事業はNPO法人交通教育とらふいっくシステムズに業務委託している。今後は交通指導員を置き、市が直接指導するよう移行していく。



片平取水口 地下導水管で本山浄水場へ

かけがえのない命を守るために



公明党
やまぐち けいこ
山口 恵子

その他の質問事項

- ▼ DV対策と連携強化について
- ▼ 避難所のWi-Fi環境・乳幼児用の備蓄品について

◆風疹感染の予防対策

問 妊娠中の風疹感染を防ぐことが重要。妊娠を希望されている女性と、その夫に対する風疹予防接種補助の状況は。

答 平成31年2月現在、283件の申請があり、昨年の3・3倍にあたる状況。

問 全国的に風疹感染が拡大している。これまで一度も予防接種の機会がなかった世代の対策が必要。市の取り組みは。

答 国では40〜57歳の男性を対象に抗体検査とワクチン接種を3年間無料で実施する。クーポン券を発行し全国どこでも受けられるようにしたい。

◆子どもの命を守る

問 小さな命が危険にさらされる悲しい事件が起きている。大人は子どもの命を守り育ていく使命がある。児童虐待を防ぐため、市の対応は。

答 相談支援においては



相談先を掲載したリーフレット

関係機関と連携を図りチームで対応し役割を明確にして支援をしている。

◆いのちを支えるプロジェクト、学校では

問 子どもたちの悩みは様々で、安心して生活や相談できるよう取り組みが必要。子どものSOSに気づき支援につなげることが重要だが、対策は。

答 長野県は未成年の自殺率が高い状況。中学生が悩みや問題を抱えた時に相談できる専門の相談先を掲載したリーフレットを配布している。命の尊さや、いじめやネットトラブルなど「人権教育」をしていく。